

## 平成29年度 博物館実習生製作企画展示

### 【1班】

#### 1 タイトル 「草原の生き物のいま」

#### 2 趣旨

草原の生物には、絶滅が危惧されているものが多い。これには草原の減少が関わっており、明治時代初期には日本の30%程あったとされる草原は、現在では1%未満になっている。減少した理由としては草原の草はかつて屋根の材料や家畜のエサとして利用されてきたが、近代化が進み草原の草を必要としなくなり維持されなくなったからである。この展示では草原と草原に住む生物を紹介し知ってもらうことで草原の減少問題について考えるきっかけにさせていただく。

### 【2班】

#### 1 タイトル 「身近にいる擬態昆虫」

#### 2 趣旨

擬態とは、環境に合わせて魚や鳥、昆虫などが身を守ったり、餌をとったりすることである。本企画展では昆虫の擬態に注目して紹介する。興味深い特性をもつ昆虫がいること、博物館周辺などといった身近な環境でもみられるということを知ってもらう。

### 【3班】

#### 1 タイトル 「あなたの知らないシーボルト」

#### 2 趣旨

19世紀にオランダ商館医として長崎に来日したドイツ人医師シーボルトは、多くの日本人に西洋医学を伝授したことで有名だが、一方で博物学者としての一面も持っていた。その中でも彼は植物に強い関心があった。本企画展では、シーボルトが出版した『フロラ・ヤポニカ』を取り上げて、あまり知られていないシーボルトの一面を紹介したい。

## 博物館実習企画展示発表会と準備・展示解説の様子



企画展示準備



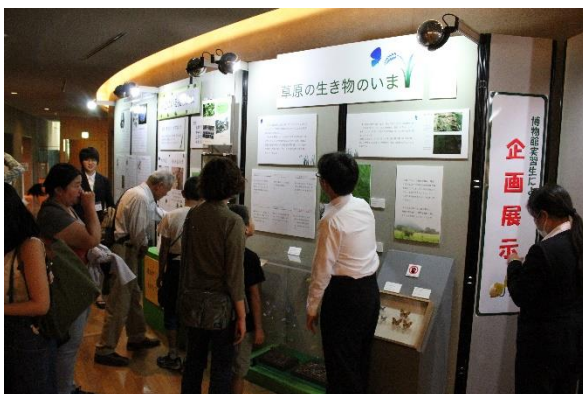
展示解説



展示解説



展示解説



来館者への展示解説



来館者への展示解説